

事業所職員向

自己評価表 (児童発達支援・放課後等デイサービス)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		一人あたり遊戯室1. 65㎡以上、指導訓練室2. 47㎡以上のスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		こども10人につき4名の配置のところ、こども5～名～7名に対し4名体制で療育を行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		建物はバリアフリーである。必要に応じて写真やついたて等を使用し、個々に応じた配慮を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		開始前後の掃除、消毒、また無垢の木材を使用した室内等、こどもたちが心地よく過ごせるよう、環境を整えている。またこどもの活動に応じて仕切りを立てたり部屋を移動したりし、こどもの活動に合わせた場の使い方を工夫している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		1年の振り返りと次年度の課題を職員会議の中で行い、次年度の目標設定につなげている。日々のPDCAサイクルに広く職員が参画するための仕組み作りは課題。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		自己評価表や日々の中でいただいたご意見は数値化して検証し、業務改善につなげている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		HPIに公表している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		昨年度第三者評価を実施し、現在業務改善につなげている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		2ヶ月に1度の事業所内研修、半年に1度の法人内研修、他必要に応じて外部の研修にも積極的に参加している。今後、職員の個別研修計画等を作成していくことが課題。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		JSIRとNCプログラムによるアセスメント、保護者からの要望書を元に、支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		JSIRとNCプログラムのアセスメントツールを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		具体的な支援内容を設定できるよう、支援計画を立てている。必要な支援の項目別記載欄はもうけておらず、今後の検討課題である。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		日々の記録用紙に支援目標を反映させ、支援計画を意識しながら支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		担任を中心としながら職員間で立案を行っている。かかわっている職員全員での立案は、時間確保や日程調整等の関係で課題。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		月ごと、年間ごとにプログラムの検証を行い、こどもにとってふさわしいプログラムとなるようPDCAサイクルを回している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		小集団活動を基本としながら、必要に応じて個別活動を取り入れている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日打ち合せを行い、支援の内容や役割分担について共有している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		毎日振り返りを行い、気づいた点を共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々療育後に記録をとっている。さらに記録を支援の検証、改善につなげていきたい。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に1度モニタリング会議を行っている。さらに日常の中で必要に応じ都度見直しを行えるようなしくみ作りが課題。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		こどもの状況に精通した担任か、児童発達支援管理責任者が参加するようにしている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		法人内の保育所との連携も含め、必要に応じ、関係機関や自治体と連携しながら支援を行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保育所等訪問支援や引継書、サポートブックを通じて相互理解を図っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		引継書やサポートブックを通じて相互理解を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		未来センターのST,OTの見学をし、助言をいただいた。また研修や西児連での活動にも参加している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		同法人内の小規模保育施設や、地域の公園等で、色々なこどもたちとふれあう機会がある。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		西児連を通して情報共有を行っている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々の送迎時や連絡帳のやりとりを中心に、こどもと保護者の状況を伝え合い、共通理解を図っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		年に2回の保護者会での勉強会を開催。今年度ペアブはを開催できなかったので来年は検討したい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		入園時、年度初めにお手紙を配布しご説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		支援計画作成時には懇談をもうけ、保護者からの同意を得た上で進めている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日々の送迎時と、必要に応じて時間を設定したご相談の機会を設けている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		父の会、保護者会の開催、バザー準備会、法人行事等、保護者を交えた行事の機会を設けている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者に配布しているおたよりには毎回、いつでもご相談可能という文言を記載。また玄関にはご意見書を設置しているが、あまりご利用がないので、分かりやすい工夫が必要。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		法人行事のご案内、クラスだよりの発行、法人会報誌つむぎの発行、HP、インスタグラムでの発信
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		毎年写真掲載同意書にて写真の掲載有無の確認を行っている。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		写真、手順書、マーク、個別へのご説明等、個々に応じた情報伝達の工夫を行っている。
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		夏まつり、バザー、地域開放講座、公開講座等積極的に地域に開かれた行事を開催している。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアルを策定し、職員間で周知と訓練を行っているが、保護者への周知が課題。HPへの掲載当の検討を行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に2回子どもと共に訓練を行うとともに、職員間での訓練、BCPに応じたシミュレーションの機会も設けている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		てんかん発作時対応書を記入いただき、職員間で周知している。服薬、予防接種は口頭での確認にとどまっているので記入用紙の検討を行いたい。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギー調査書を記入いただき、医師の指示書に基づく対応につながるようなしくみを構築している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットが起こったときは用紙に記入すると共にふりかえり時と業務翌日の朝礼時に共有している。また事例をヒヤリハットのファイルにまとめ、回覧できるようにしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		職員会議で毎年研修を行っている。さらに今後、虐待防止委員会の充実を図りたい。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		身体拘束を行う場合の組織的な決定の流れは整えている。今後定期性化委員会の充実を図りたい。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。